

一期一会

～気づこう差別～

伊集院中学校人権・同和教育係

「人権学習」

「人権!？」って何でしょう。

人権とは「人が幸せに生きる権利」です。差別とは「人が幸せに生きようとする権利をじゃまする行為」です。では、幸せになるために「自分勝手に何でも好きにすればいいんだ。」となると、その周りの人たちの「幸せに生きる権利」をじゃまする(侵害する)ことになります。ですから、「自分の人権を守る」ということは、「相手の人権も尊重する」ということなのです。

6月4日に、学年毎の人権学習を実施しました。そのときの子どもたちの様子と感想を紹介します。この人権学習を通して子どもたちの成長を垣間見ることができます。なお、すばらしい感想がたくさんありましたが、多くは載せることができませんでした。ご了承下さい。

1年：アサーショントレーニング

さまざまな場面を想定して「攻撃型」「受身型」「主体型」などの対応を考え、どんな対応が相手を傷つけないのか、仲良くやっていたいのか、みんなで考えることができました。感想です。

相手の意見に合わせてばかりの自分がいましたが、相手の意見も尊重しつつ、自分の意見も伝えることの大切さがわかりました。自分一人で解決できないときは、周りの人の力をかりればよい。というのが一番心に残っています。



相手を思いやる心を持って、人と接することが必要だと思えます。自分の意志のみで動いたり、発言したりしては周りの人はついてこれず、みんな離れていくと思えます。今日学んだ事をこれからの生活に活かしていきたいと思えます。

これからは思いやりと正義感をもっていじめや差別、偏見がないクラスを作っていきたいと思えます。今日の人権学習ではすごく大切なことを学びました。これからはまわりの人たちと協力したいと思えます。

今日の授業で相手の気持ちやその場の雰囲気を考え、その上で自分の考えを伝えることの大切さを知りました。これから、もしイジメを見たり、少しいやなことがあっても適切な対応ができるようにしたいです。

今日の授業でたくさんのことを学びました。私にとってのキーワードは「相手の気持ちを考える」です。たくさんのもだちと遊んで学んで私自身成長していきたいです。楽しい学校生活がおくれるように笑顔、思いやりなどを忘れないようにしたいと思えます。

2年：スクリン劇「在日の今～近くにいてよかったね～」

パクヘンジャは在日朝鮮人としていろんな差別に直面します。しかしながら、まわりの理解と支援を受け、悩みながらもたくましく生きていきます。その姿を声優劇にしました。感想です。

一人の発言に対して、のっかっていく人が多い。もしかすると、いじめもこのようにしておこっているのかもしれない。いじめのない集団になっていくためには、周りの人のことを考えて、皆の意見を尊重していくことが大切だと思う。



いじめはかくれたところであるかもしれない。そのかくれたいじめを気づいた時点で先生や友達に相談して解決することが大切だろうと思う。しかし、全ての人が相談できるわけではないので、周りの人が悩んでいたなら声をかける習慣をつけたいと思う。

全員が一人一人の良いところと悪いところを知ってそれを受け入れればいじめのない集団をつくれると思う。人と違うところを批判するんじゃなくて個性として判断すれば人を尊重できる人間になれると思う。

今回の学習を通して分かったこと、学んだ事は「あたりまえ」なことだが、どんな形であれ、いじめや差別をしてはいけないということ。外国人なだけでたくさんの差別をされたのはとても悲しいことだと思った。

3年：スクリーン劇「汚染一揆」

歴史への正しい理解と差別に対して立ち向かっていく村人の姿に学ぶため、声優劇「汚染一揆」にとりくみました。その感想です。

自分たちの基本的人権が侵害されそうなときは、勇気をもって周りの人たちと協力して立ち向かいたいと感じた。

差別をしないことと、差別している人に注意することもできるようになろうと思った。

みんなが「差別」と「差別をしようとする自分」に負けない強い心を持つことが大切だと思った。今まで人の悪口に話を合わせていた自分は心が弱いんだなと思った。一人一人が周りに流されず、自分をもつことで、差別はなくなると思う。

授業でいくつもの差別を学び、みんなで仲良くすることが、人の意見自分の意見を伝えることが大切だと分かった。

差別や偏見はいけないと分かっているけど、自分で気づいていないところで、自分のさりげない言動が差別や偏見につながってしまっていると感じた。差別や偏見をしている自分に気づき、いろんな人と平等に接することができるように日頃の自分の言動を見直していきたい。

村人たちの真っ直ぐさと真の強さ、そしてなにより強い相手にも自分たちの意をきちんと伝える。その心の強さをこれからの学校生活に活かしていきたい。

自分たちの基本的人権が侵害されそうなときは、勇気をもって、また、周りの人たちと協力して立ち向かいたいと感じた。

差別をしてはいけないと何度も言われてきたが、正直自分がどうなのか分からなくなった。もしかしたら、自分も差別をしているのかもしれない。そんなことがないために日頃から差別をせず、平等に接するよう意識したいと思った。

間違っていると思ったところを堂々と違うと言ったり、最初はみんなで一致団結しようとしたが途中で周りがあきらめかけても自分は目標達成のためにあきらめないようにしたい。周りもだが、自分の考えを大切にしたい。

声優さんへ一言

- ・たくさんの練習をして、自分たちに人権の大切について教えてくれました。有り難うございました。
- ・すらすらと台本を読んでいて、聞きやすかったです。
- ・大事な昼休みを利用して、頑張って下さり、とても素晴らしい朗読だったと思います。大変聞きやすかったです。
- ・みんなのために自分の時間をさいて練習してくださり、ありがとうございました。みんなの声を通していろいろ学ぶことができました。

